

「第3次さいたま市空き家等対策計画（素案）」に対する意見募集結果

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
1	<p>全体にしっかりとしたご計画で興味深く拝見した。住宅会社で仕事をした経験から空き家も見てきており、空き家の議論には勤労者の視点をもっと必要だと思っている。</p> <p>立地や耐震・断熱性能の議論は多いが、間取り・内装・設備については議論されていない。古い家は、和室の続き間があり、2階2部屋という案件が多く、そのままでは住みたくなく、改修がどこまでできるのか分からない不安がある。</p> <p>東京都では「リフォームモデルハウス」に補助金を出し、古い家も魅力ある家になることを具体的に見せて消費者の行動を促している。市内10ヶ所ほどにモデルハウスを設け、市が主導して合同で広告訴求する仕組みは有効だと思う。</p> <p>また、郊外団地の例では、購入者が「仕事があるか不安だった」との声を聞いたことがある。実際には求人があるにもかかわらず、不動産広告にはそうした情報が載っていない。広告にハローワークのQRコードを掲載するなど、消費者が知りたい情報を充実させることで街の見え方は変わると考えている。こうした取組は街のブランディングにもつながるだろう。</p>	47～67ページ	1	<p>ご指摘いただいた、空き家の利活用を推進するための課題整理および具体的な提案については、本市としても重要な視点であると認識しております。</p> <p>本計画では、計画書に記載のとおり、空家等管理活用支援法人を活用した利活用支援体制の構築、利活用の促進に関する新たな目標指標の設定、利活用希望者への情報提供・マッチング環境の改善を進めていく方針です。</p> <p>また、利活用の具体的な案件が今後増加していくことを想定し、それらの実例を踏まえた制度設計の改善や支援内容の充実についても検討していきます。</p>	<p>ご指摘いただいた内容は、今後の施策推進の際の参考とさせていただきます。</p>

■ 集計結果

意見提出者数	1名
意見項目数	1件
修正項目数	0件